

委員会活動

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 総合振興計画審査特別委員会

各常任委員会・特別委員会は、3月定例会で付託になった議案について審査を行いました。

総務常任委員会

(瀬戸口三郎委員長) は、平成18年度曾於市一般会計予算(所管分) など10件・陳情1件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案3件を賛成多数、議案7件を全会一致で可決すべきものと、また陳情1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

☆曾於市長期継続契約と
する契約を定める条例
の制定について

本条例は地方自治法及び地方自治法施行令の改正により、長期継続契約を締結できる範囲が拡大されたことに伴い提案されたものであります。契約期間が5年まで締結できるということであるが、法の拡大解釈がなされないよう注意を要請し可決すべきものと決定しました。

☆平成18年度曾於市一般
会計予算

総務委員会に付託された7所管分を通年初めての予算編成ということである歳入歳出慎重に審議しました。

歳入では、市税27億3789万9千円、地方譲与税6億100万円、地方交付税77億5千万円、市債17億8510万円等が計上されています。歳出では、議会費2億1169万2千円は、議会運営費に関する経費であります。総務費25億8787万3千円は、電子計算機システム管理費、普通財産管理費、バイオマスタウン構想策定事業、賦課徴収に要する経費が



主なものであります。消防費6億6070万3千円は、大隅曾於地区消防組合への負担金、非常備消防及び防火水槽設置に要する経費が主なものであります。

審議過程の中で、総務課担当の消防施設費における財部中央分団の詰所改修工事や企画課の住宅分譲地、さらには、財政課の市有地売却予定地、大隅文化会館駐車場用地購入予定地等の現地調査を実施し、市有地売却時の評価については、公平な立場から後に周辺住民の苦情がないように売却をすべきである。また、大隅町文化会館駐車場整備については、当地は文化会館との高低差が大きいため出来る限り段差を少なくすべきである等の意見の集約を行い、本委員会では採決の結果、賛成多数にて可決すべきものと決定しました。

☆鹿児島県大隅合同庁舎 の存続に関する陳情書

くよう本市議会から県知事への意見書の提出を求める内容であります。

本陳情は、11月鹿児島県行財政構造改革の一環として、発表された組織機構改革方針案の対応として、大隅合同庁舎がなくなった場合や大幅に縮小される事態になった場合、各方面に及ぼす影響の大きさを危惧して曾於地区商工会連絡協議会が中心になり、大隅合同庁舎を総合事務所として頂

審査の中では、当然大隅合同庁舎存続は本市にとって必要不可欠であるとの全委員の見解であり、また意見書を提出して地域の関係団体とも連携し、議会としても継続して取り組むべき重要な問題であるという意見を付して本委員会は本陳情は全会一致で採択すべきものと決定しました。



大隅町文化会館駐車場予定地

文教厚生常任委員会

(渡辺利治委員長)は、平成18年度曾於市一般会計予算(所管分)など26件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案5件を賛成多数、議案21件を全会一致で可決すべきものと決定しました。

☆曾於市廃棄物処理施設

の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

大隅一般廃棄物最終処分場は計量器を設置していないことから、18年度は9月30日まで2つの施設について手数料を徴収しないこととなりました。そして10月からは財部・

☆指定管理者の指定について

財部保健福祉センターをはじめ、各地区青少年館や地区公民館、クリーンセンター、新地公園プール等が提案されました。指定管理者は住民サービスが低下しないよう努力し、効率的な運営を目指すものです。



大隅一般廃棄物最終処分場

大隅地区においては、不燃ごみ・粗大ごみは曾於市クリーンセンターへ持ち込み、破碎して最終処分場へ運び、処分場の延命化と環境問題にも取り組むものです。

☆平成18年度曾於市一般会計予算

18年度曾於市当初予算は、社会福祉費29億5千万円は、国民健康保険、老人保健、介護保険特別会計への繰出金や、身体障害施設支援費です。児童福祉費約14億8千万円は、児童手当が主でありませんが、小学3年終了前支給を小学終了前迄の拡大によるものです。保健衛生費約5億2千万円は老人保健事業や火葬場の経費です。清掃費約7億4千万円は、曾於市クリーンセンター管理費、曾於北部衛生処理組合への負担金です。教育費約16億1千万円のうち小規模校教育活動充実事業は複式学級に対する教育補助金や学校給食共同調理場管理費が約1億1千万円です。市内20小学校の管理費や施設整備費が約2億6千万円です。月野小の鳩対策や楳小の雨漏り改修、末吉小外便所水洗化等です。中学校費は、

曾於市内6校分の管理費、末吉中学校普通教室棟の測量設計管理業務委託料や遠距離通学生に支給される助成金等です。幼稚園費約2200万円は、保護者負担格差是正のためのもので、社会教育費約5億4千万円は、

曾於市教育施設の維持管理、生涯学習に係るもの、末吉町の体育祭は廃止となりました。保健体育費約1億9千万円は、施設の維持管理や各種スポーツ大会に係るものです。

☆平成18年度曾於市各特別会計予算

特別会計の国民健康保険は、1万1426世帯で、2万1546人見込みで約51億円の計上です。温泉保養補助についての問いに、70歳以上の一日入浴券は年間20枚で、一回入浴券は、補助に該当しないとのこと。老人保健は、8526人見込みで約71億円の予算で、特にありませんでした。介護保険は、1万4186人の見込みで39億1485万円の予算で、訪問給食サービスの負担金の問いに、20年度に350円で統一されることとす。生活排水処理事業は、財部地区に平成14年着手し、今年度100基の浄化槽設置計画の9360万円の予算となります。



笠木小学校 図書室にて



建設経済常任委員会

(吉村幸治委員長)は、平成18年度曾於市一般会計予算(所管分)など16件について委員会を開き、慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

☆曾於市水道事業運営審議会条例の制定

現行の水道料金及び給水負担金等の調整が必要なことから、市長の諮問に応じ、水道事業の運営に関する事項を調査・審議し、答申する機関を設置するものであります。

☆曾於市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定

末吉地域簡易水道南之郷地区に簡易水道高岡地区を編入し、市の管理とするためのものであります。

☆指定管理者の指定

市の施設をそれぞれの民間団体等に管理委託するもので、大隅農業環境改善センターを菅牟田校区公民館に、花房峽憩いの森を曾於市森林組合へ5年契約で、大隅南地区農業構造改善センターを大隅南校区公民館に、岩川地区農業構造改善センターを岩川校区公民館に、曾於市下水道浄化センターを大隅衛生企業有限会社に指定するものであります。

☆平成18年度曾於市一般会計予算

耕種農家の簡易堆肥舎補助の考え方はとの問いに、環境保全型農業を進める上での堆肥舎建設補助(60㎡以上・上限30万円補助)であります。

商工会商品券発行事業はとの問いに、法人登記でおこなう計画で1人につき1万円を1割上乘せして発行券を10月頃で1年6ヶ月間使えるものを予定しています。

有機センターの堆肥をPRするため、学校や老人クラブ等に原価で支給すればどうかとの問いに、申請してもらって学校には無償で支給しています。老人クラブにも申請書を出していただいて無償で支給したいです。

生コン等原材料支給の積算はとの問いに、18年度より生コン支給は1路線14㎡ずつ年次的に支給し、集落で複数路線の場合は優先順位をつけてもります。

市道の改良については、交通量等を勘案して限られた予算の中で延長をのばした方がよいのではないかととの問いに、幅員については交通量等十分考へながら延長をのばしていくように検討します。

☆平成18年度曾於市公共下水道事業特別会計予算

下水道浄化センター処理増設工事の内容はとの問いに、二期工事に向けて機械設備と電気設備の8-2系列分が稼働出来る体系をつくる工事である。

森田地区・川内団地以

外にも必要な所は計画変更して二期工事に取り込むべきであるとの意見が出されました。

☆平成18年度曾於市水道事業会計予算

八合原の水源地掘削は、間違いないように進めてもらいたいが、計画はどうなっているかとの問いに、色々データを集めて検討はしています。場所が決まれば4月中に入札したいと考えているが当初計画より遅れています。

八合原水源は緊急を要するので、十分事前調査をおこない慎重を期するように、また高岡地区の配水管が民有地を通っているため、第2期工事の早期着工を要請するとの意見がございました。



財部のいきいき親水公園

